

提供文書は、2号用紙から作成と印刷を行います。  
プレビュー表示を押すとその内容が保持されます。

2号用紙から下記の提供文書が出力できます

- ・ 歯科疾患管理料（初回）
- ・ 歯科疾患管理料（継続）
- ・ 歯科衛生実地指導料
- ・ 歯科疾患在宅療養管理料
- ・ 訪問歯科衛生指導料
- ・ 診療情報提供料
- ・ 診療情報連携共有料
- ・ 居宅療養管理指導費（歯科医師）
- ・ 居宅療養管理指導費（歯科衛生士）
- ・ 居宅療養管理指導計画書
- ・ 口腔機能低下症管理計画書
- ・ 口腔機能低下症管理記録簿
- ・ 口腔機能発達不全症管理計画書
- ・ 口腔機能発達不全症管理記録簿
- ・ 歯科矯正診断説明書
- ・ 顎口腔機能診断説明書
- ・ フォースシステム説明書



プラークの印字の反映はDXRをご利用の場合のみです。DXをご利用の医院様はペン入力等をご活用お願いします。

## 提供文書の作成

2号用紙右端のボタンをタップすると、詳細編集画面になります。

歯管▶・衛実地▶・歯在管▶・訪衛指▶・情1▶・情3▶・情共▶・居宅医▶・居宅衛▶・居宅計▶・口機能計▶  
・口機能管▶・小機能計▶・小機能管▶・矯正診断▶・顎診断▶・フォース▶

詳細を選択・記載後に問題がないか確認し、最後に「プレビューを表示」ボタンをタップします。



歯管の場合は  
初回用／継続用に  
このボタンで切り替えます



▲ 歯科疾患管理料（初回）

## 提供文書（歯管・衛実地・歯在管理）の歯式にペン入力する

詳細編集画面の左側の口腔情報をタップすると、描画機能（ペン入力）を使用できます。ボタンは2号用紙の描画機能と同じです。「x」ボタンで描画を終了し、最後に「プレビューを表示」ボタンをタップし「保存してプレビュー表示」もしくは「保存せずプレビュー表示」を選択します。



保存はペン入力と口腔情報の画像を合わせて保存します。  
 1患者につき歯管・衛実地・歯在管でそれぞれ1つの情報のみ保存が可能で、それ以上保存しようとすると上書きされます。

## 提供文書の印刷

プレビュー画面右上の印刷ボタンからサイズを指定しプリントボタンをタップします。一度サイズ指定をして印刷するとiPadごとに設定が保持されます。



提供文書の控え印刷の有無については

- >メニュー
- >設定
- >印刷
- >提供文書で設定します。

現在、歯管（初診月）80点を算定した場合のみ歯管（初回）の出力ができるようになっております。初診月以外で歯管（初回）を出力したい場合は、お手数ですが点数検索等で歯管（初診月）80点を入力し、提供文書出力後に2号用紙から削除または点数をタップして回数を0に変更をお願いいたします。